



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月28日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 5334 URL https://www.ngkntk.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川合 尊  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 寺下 和良 (TEL) 052(872)5918  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年11月29日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日~2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	215,499	2.9	26,229	△20.2	24,704	△27.1	17,655	△27.5
2019年3月期第2四半期	209,371	5.4	32,877	1.2	33,893	△2.5	24,338	8.5

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 9,788百万円(△58.8%) 2019年3月期第2四半期 23,783百万円(△21.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	84.82	—
2019年3月期第2四半期	116.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	653,376	403,847	61.4
2019年3月期	629,417	401,505	63.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 401,433百万円 2019年3月期 399,074百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2020年3月期	—	35.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	433,000	1.9	54,000	△7.5	54,000	△8.9	39,000	△8.5	187.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P.10 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	208,911,620株	2019年3月期	208,911,620株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	754,054株	2019年3月期	739,357株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	208,154,285株	2019年3月期2Q	208,339,010株

(注) 当社は、役員報酬 BIP 信託及び株式付与 ESOP 信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料 P.4 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定について

2019年3月期第3四半期連結会計期間に行われた企業結合について、当第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理の確定を行っています。

比較情報の前連結会計年度については、これらの暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

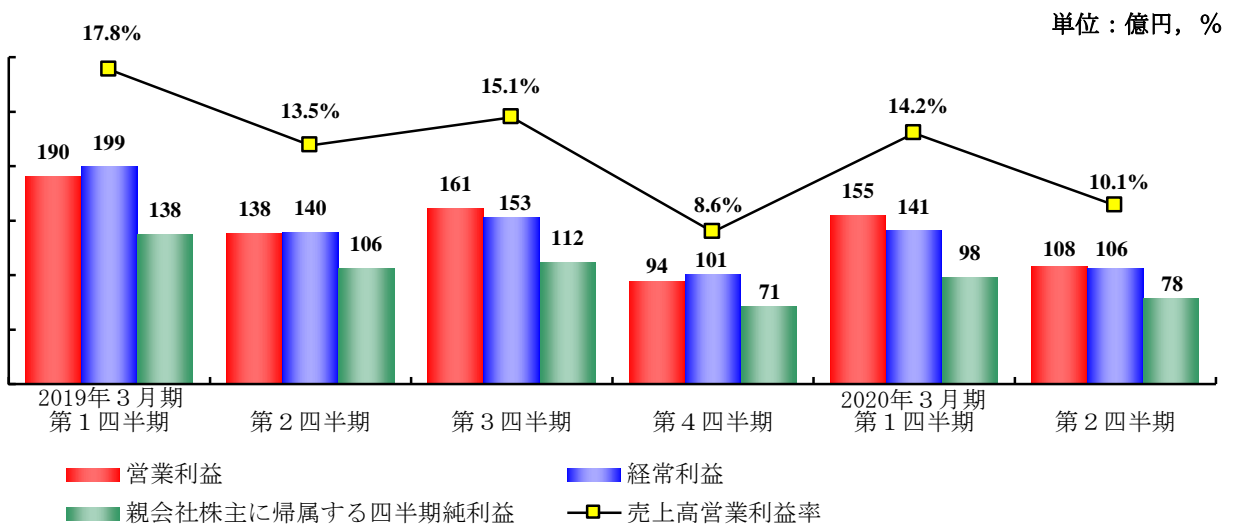
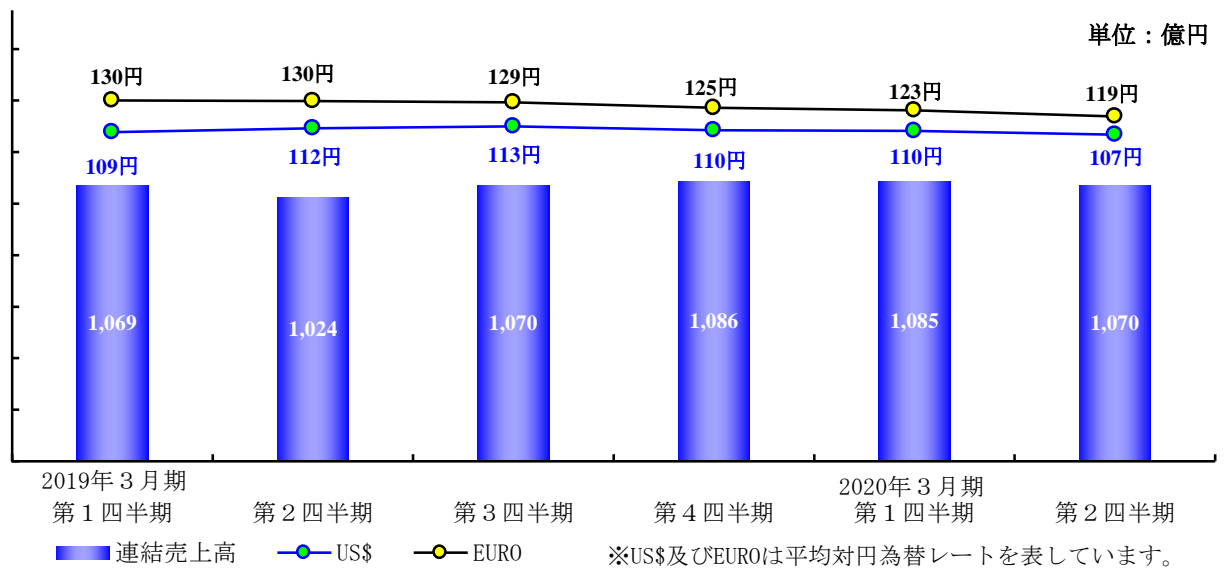
## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における世界経済は、米国においては良好な雇用・所得環境に支えられた個人消費は好調であるものの、外需の減速や通商政策をめぐる不確実性の高まりを受け、企業による設備投資が低迷しています。欧州においては雇用・所得環境の改善が続くなか、底堅い個人消費が景気の下支えとなっていますが、外需の減速や政治をめぐる不確実性の高まりが景気の重石となっています。中国においては貿易摩擦の影響等から外需の低迷が続いているほか、内需の回復にも遅れが生じています。わが国経済においては外需の低迷により輸出が伸び悩んだものの、雇用情勢や所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの主要な事業基盤である自動車業界における新車販売は、米国においては安定した労働環境、堅調な個人消費等販売を後押しする環境はあるものの、自動車販売価格の上昇等といったマイナス要因が需要に影響を与えています。中国においては、景気の減速を背景に新車販売は前年度を下回る結果となっています。

また、半導体業界においては、データセンター向け投資の減速や貿易摩擦の影響を背景としたメモリーメーカーの投資抑制により需要が低迷しています。

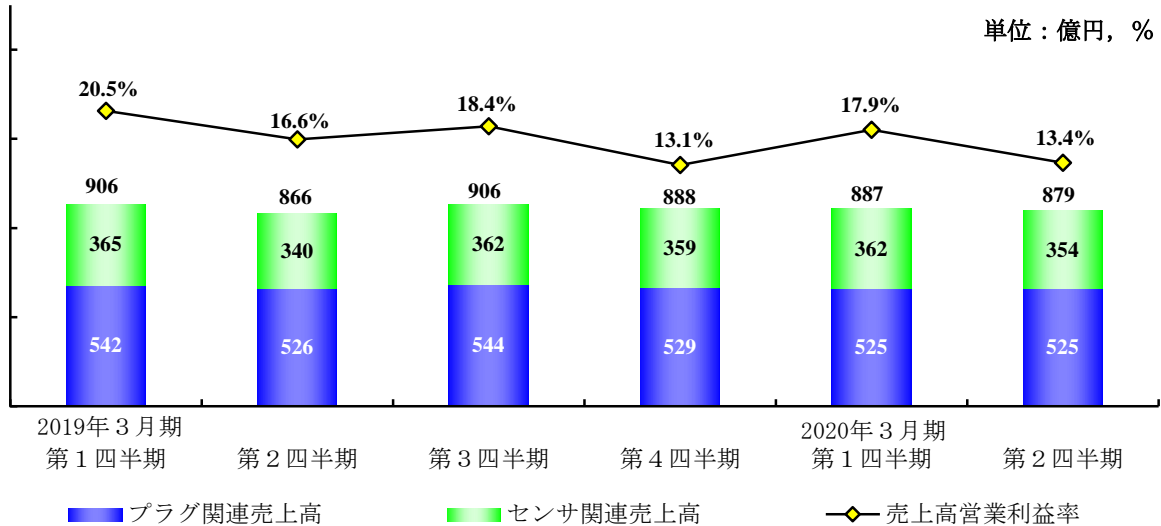
このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は2,154億99百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は262億29百万円(前年同期比20.2%減)、経常利益は247億4百万円(前年同期比27.1%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は176億55百万円(前年同期比27.5%減)となりました。



## 〈自動車関連〉

当事業は、当第2四半期連結会計期間では、新車組付用製品について、市場環境等の悪化はあるものの、前年度を上回る結果となりました。補修用製品について、一部の地域で前年度を下回ったものの、堅調な米国及び中国市場により前年度を上回りました。しかしながら第1四半期の売上減少により、当第2四半期連結累計期間においては前年度を下回る結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,766億22百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は276億96百万円（前年同期比15.9%減）となりました。

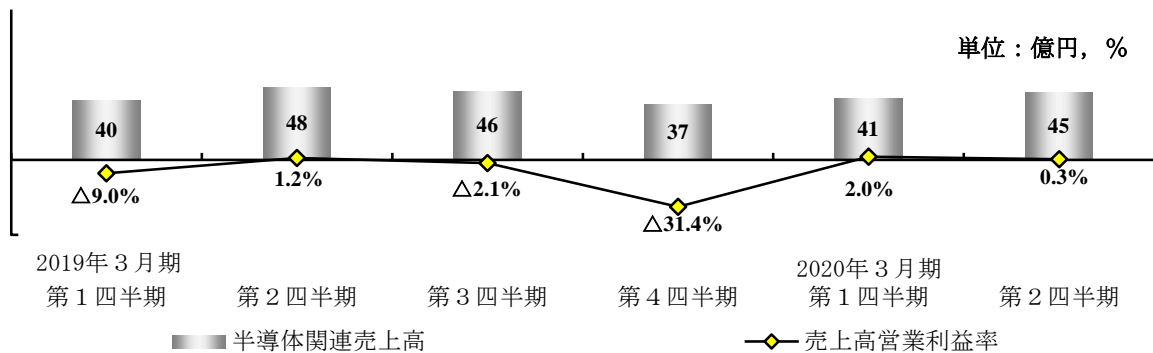


## 〈テクニカルセラミックス関連〉

## 半導体関連

当事業は、前年度に引き続き製品の選択と集中及び人員削減等の合理化を推し進めており、当第2四半期においても、第1四半期に引き続き利益を確保しています。

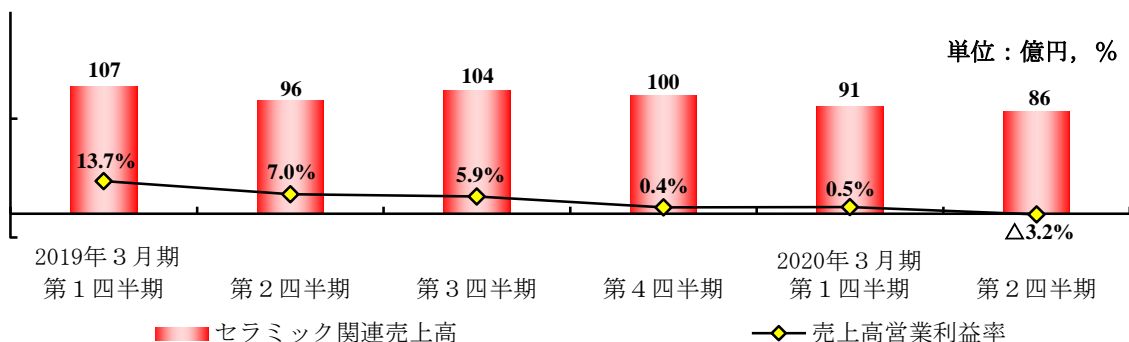
この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は85億37百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は91百万円（前年同期は2億98百万円の営業損失）となりました。



## セラミック関連

当事業は、工作機械向け出荷は米国及び欧州において堅調に推移しましたが、半導体製造装置用部品においては半導体業界の落ち込みの影響を受け、前年度を下回る結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は176億96百万円（前年同期比13.0%減）、営業損失は2億30百万円（前年同期は21億42百万円の営業利益）となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

	流動資産	固定資産	総資産	負債	純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期第2四半期	321,798	331,578	653,376	249,529	403,847
2019年3月期	311,100	318,316	629,417	227,911	401,505

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末比 239 億 59 百万円増加の 6,533 億 76 百万円となりました。これは、主として投資有価証券の売却により減少した一方、現金及び預金並びにたな卸資産が増加したこと、設備投資並びに「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおり、米国を除く在外子会社において第1四半期連結会計期間の期首から IFRS 第16号「リース」を適用したことに伴い、有形固定資産が増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末比 216 億 18 百万円増加の 2,495 億 29 百万円となりました。これは、主として社債の発行、及び有形固定資産の増加と同様に、米国を除く在外子会社において IFRS 第16号「リース」を適用したことに伴い、リース債務が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末比 23 億 41 百万円増加の 4,038 億 47 百万円となりました。これは、主として配当金の支払による減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加があったことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期第2四半期	23,004	△27,206	17,284	85,765
2019年3月期第2四半期	18,803	△20,611	△21,106	65,322

営業活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比 42 億 1 百万円増加の 230 億 4 百万円となりました。これは、主として売上債権の増減額が増加した一方、たな卸資産の増減額の減少及び法人税等の支払額の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 65 億 94 百万円増加の 272 億 6 百万円となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出の増加によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、前年同期比 383 億 90 百万円増加の 172 億 84 百万円となりました。これは、主として社債の発行によるものです。

この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額 15 億 66 百万円を控除した純額で 115 億 15 百万円増加し、857 億 65 百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	自動車連		テクニカルセラミックス関連		その他	連結				
	百万円	%	百万円	%		百万円	%			
売上高	355,576	(△0.3)	16,186	(△5.2)	35,494	(△12.7)	25,744	(143.3)	433,000	(1.9)
営業利益	57,084	(△6.7)	261	(-)	△799	(-)	△2,546	(-)	54,000	(△7.5)
経常利益									54,000	(△8.9)
親会社株主に帰属する当期純利益									39,000	(△8.5)
減価償却費	23,567		1,455		3,147		1,431		29,600	
設備投資額	44,200		1,200		4,500		1,100		51,000	

(注) 1 下期想定為替レート 1 US \$ = 108 円、1 EURO = 118 円

2 括弧内の数値は、対前期増減率を表します。

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年4月26日に公表した業績予想を下回る見込みとなりましたので上記の通り修正します。なお、業績見通しにおける下期の為替レ

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	48,639	47,457
受取手形及び売掛金	96,834	97,191
有価証券	34,921	45,000
たな卸資産	113,124	115,364
その他	18,423	17,665
貸倒引当金	△841	△880
流動資産合計	311,100	321,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,661	73,676
機械装置及び運搬具（純額）	110,166	117,423
土地	21,382	21,272
建設仮勘定	25,625	24,940
その他（純額）	4,885	5,449
有形固定資産合計	228,720	242,762
無形固定資産		
のれん	3,179	2,828
ソフトウェア	5,722	6,367
その他	4,756	4,261
無形固定資産合計	13,658	13,458
投資その他の資産		
投資有価証券	63,310	62,351
繰延税金資産	11,235	11,556
その他	1,510	1,569
貸倒引当金	△119	△119
投資その他の資産合計	75,937	75,358
固定資産合計	318,316	331,578
資産合計	629,417	653,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	34,957	31,992
短期借入金	27,587	27,177
1年内返済予定の長期借入金	9,924	9,924
リース債務	52	655
未払法人税等	9,126	6,825
その他	40,734	38,904
流動負債合計	122,382	115,479
固定負債		
社債	50,000	80,000
長期借入金	23,062	18,099
リース債務	129	2,806
退職給付に係る負債	30,254	31,309
株式給付引当金	201	193
繰延税金負債	618	555
その他	1,262	1,083
固定負債合計	105,528	134,049
負債合計	227,911	249,529
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,639	54,639
利益剰余金	297,754	308,090
自己株式	△1,741	△1,765
株主資本合計	398,522	408,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,872	23,343
為替換算調整勘定	△20,027	△26,823
退職給付に係る調整累計額	△4,293	△3,920
その他の包括利益累計額合計	551	△7,400
非支配株主持分	2,431	2,413
純資産合計	401,505	403,847
負債純資産合計	629,417	653,376



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	209,371	215,499
売上原価	136,360	145,162
売上総利益	73,011	70,337
販売費及び一般管理費	40,134	44,107
営業利益	32,877	26,229
営業外収益		
受取利息	461	394
受取配当金	750	784
持分法による投資利益	—	346
為替差益	1,554	—
その他	677	816
営業外収益合計	3,443	2,341
営業外費用		
支払利息	273	392
持分法による投資損失	282	—
為替差損	—	2,978
その他	1,870	496
営業外費用合計	2,426	3,867
経常利益	33,893	24,704
特別利益		
固定資産売却益	17	14
投資有価証券売却益	—	82
特別利益合計	17	97
特別損失		
固定資産処分損	542	242
投資有価証券評価損	1	—
和解金	—	180
特別損失合計	544	422
税金等調整前四半期純利益	33,367	24,379
法人税、住民税及び事業税	8,685	6,413
法人税等調整額	169	161
法人税等合計	8,855	6,574
四半期純利益	24,511	17,804
非支配株主に帰属する四半期純利益	172	149
親会社株主に帰属する四半期純利益	24,338	17,655

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	24,511	17,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,101	△1,529
為替換算調整勘定	△151	△6,355
退職給付に係る調整額	307	369
持分法適用会社に対する持分相当額	216	△501
その他の包括利益合計	△728	△8,016
四半期包括利益	23,783	9,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,653	9,703
非支配株主に係る四半期包括利益	129	84

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	33,367	24,379
減価償却費	11,416	14,454
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	245	1,619
受取利息及び受取配当金	△1,211	△1,178
支払利息	273	392
持分法による投資損益 (△は益)	282	△346
固定資産処分損益 (△は益)	524	227
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△82
売上債権の増減額 (△は増加)	517	△4,237
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,716	△5,867
仕入債務の増減額 (△は減少)	△322	537
その他	△5,881	1,023
小計	29,496	30,920
利息及び配当金の受取額	1,193	1,324
利息の支払額	△272	△360
法人税等の支払額	△11,613	△8,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,803	23,004
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△93	1,760
有価証券の純増減額 (△は増加)	1,981	—
有形固定資産の取得による支出	△22,356	△26,419
無形固定資産の取得による支出	△1,223	△1,622
投資有価証券の取得による支出	△1,122	△1,238
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,000	126
その他	201	188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,611	△27,206
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	549	6
長期借入金の返済による支出	△5,000	△4,962
社債の発行による収入	19,892	29,852
社債の償還による支出	△25,000	—
自己株式の取得による支出	△5,000	△73
配当金の支払額	△6,305	△7,295
その他	△242	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,106	17,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	858	△1,566
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△22,056	11,515
現金及び現金同等物の期首残高	87,378	74,250
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,322	85,765

**(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)**

該当事項はありません。

**(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)**

該当事項はありません。

**(会計方針の変更)**

米国を除く在外連結子会社では、第1四半期連結会計期間の期首からIFRS第16号「リース」を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。また、当該基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、当該基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首の資産が3,515百万円増加、負債が3,534百万円増加、利益剰余金が19百万円減少しています。資産の増加は主として有形固定資産、負債の増加は主としてリース債務の増加によるものです。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

**(四半期連結貸借対照表に関する注記)**

当社グループは、自動車関連事業における過去の一部の取引において競争法違反の疑いがあるとして海外の当局による調査を受けています。これに関連し、顧客からの損害賠償の交渉、民事訴訟も提起されています。今後、新たな事実が判明した場合は追加の損失が発生する可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難です。

**(セグメント情報)**

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連	テクニカル 半導体	セラミック 関連	計	計				
売上高									
外部顧客への売上高	177,293	8,823	20,344	29,167	206,460	2,911	209,371	-	209,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	177,293	8,823	20,344	29,167	206,460	2,911	209,371	-	209,371
セグメント利益 又は損失(△)	32,938	△298	2,142	1,844	34,782	△1,904	32,877	-	32,877

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境エネルギー分野・医療分野等の新規事業、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 関連	技術的 半導体	セラミックス セラミック	関連 計					
売上高									
外部顧客への売上高	176,622	8,537	17,696	26,233	202,856	12,642	215,499	-	215,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	176,622	8,537	17,696	26,233	202,856	12,642	215,499	-	215,499
セグメント利益 又は損失(△)	27,696	91	△230	△139	27,557	△1,328	26,229	-	26,229

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境エネルギー分野・医療分野等の新規事業、材料売上及び福利厚生サービス業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

## (重要な後発事象)

## 自己株式の取得及び消却

当社は、2019年10月28日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することを決議するとともに、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の一部を消却することを決議いたしました。その内容は以下のとおりです。

## 1. 自己株式の取得及び消却を行う理由

資本効率の向上と弾力的な資本政策実施のため

## 2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	5,700,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.73%)
(3) 株式の取得価額の総額	10,000,000,000円(上限)
(4) 取得期間	2019年10月29日~2020年2月28日

## 3. 消却に係る事項の内容

(1) 消却する株式の種類	当社普通株式
(2) 消却する株式の数	上記2.により取得する自己株式の全数
(3) 消却予定日	2020年3月13日

## 2020年3月期 第2四半期決算概要（連結）

### 1. 当第2四半期累計の業績及び通期の見通し

（単位 百万円、％）

	前第2四半期	当第2四半期	（増減額）	（増減率）	前 期	通 期 予 想	（増減額）	（増減率）
プラグ	106,788	105,020	△1,767	△1.7%	214,083	211,224	△2,859	△1.3%
センサ	70,505	71,601	1,096	1.6%	142,597	144,352	1,754	1.2%
自動車関連	177,293	176,622	△670	△0.4%	356,680	355,576	△1,104	△0.3%
半導体	8,823	8,537	△285	△3.2%	17,075	16,186	△889	△5.2%
セラミック	20,344	17,696	△2,647	△13.0%	40,677	35,494	△5,183	△12.7%
テクニカル セラミックス関連	29,167	26,233	△2,933	△10.1%	57,753	51,680	△6,073	△10.5%
その他	2,911	12,642	9,731	334.3%	10,579	25,744	15,164	143.3%
<b>売上高</b>	<b>209,371</b>	<b>215,499</b>	<b>6,127</b>	<b>2.9%</b>	<b>425,013</b>	<b>433,000</b>	<b>7,986</b>	<b>1.9%</b>
自動車関連	32,938	27,696	△5,241	△15.9%	61,196	57,084	△4,112	△6.7%
半導体	△298	91	389	—	△1,554	261	1,815	—
セラミック	2,142	△230	△2,373	—	2,796	△799	△3,595	—
テクニカル セラミックス関連	1,844	△139	△1,983	—	1,241	△538	△1,779	—
その他	△1,904	△1,328	576	—	△4,052	△2,546	1,506	—
<b>営業利益</b>	<b>32,877</b>	<b>26,229</b>	<b>△6,647</b>	<b>△20.2%</b>	<b>58,385</b>	<b>54,000</b>	<b>△4,385</b>	<b>△7.5%</b>
<b>経常利益</b>	<b>33,893</b>	<b>24,704</b>	<b>△9,189</b>	<b>△27.1%</b>	<b>59,258</b>	<b>54,000</b>	<b>△5,258</b>	<b>△8.9%</b>
<b>親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益</b>	<b>24,338</b>	<b>17,655</b>	<b>△6,683</b>	<b>△27.5%</b>	<b>42,638</b>	<b>39,000</b>	<b>△3,638</b>	<b>△8.5%</b>
<b>1株当たり情報（円）</b>								
四半期(当期)純利益	116円82銭	84円82銭			204円74銭	187円36銭		
中間(年間)配当金	35円00銭	35円00銭			70円00銭	70円00銭		
<b>各種指標（％）</b>								
売上高営業利益率	15.7%	12.2%			13.7%	12.5%		
ROE	—	—			10.9%	9.6%		
ROIC	—	—			8.2%	7.0%		
配当性向	—	—			34.2%	37.4%		
<b>為替レート（円）</b>								
US\$	110円	109円			111円	108円 （※108円）		
EURO	130円	121円			128円	120円 （※118円）		

※ 為替レートにおける通期予想弧内は下期の想定為替レートを表しています。

#### イ. 当第2四半期累計の業績

- 自動車関連事業においては、当第2四半期連結会計期間では、新車組付用製品について、市場環境等の悪化はあるものの、前年度を上回る結果となりました。補修用製品について、一部の地域で前年度を下回ったものの、堅調な米国、中国市場により前年度を上回りました。しかしながら、第1四半期の売上減少により、当第2四半期連結累計期間においては前年度を下回る結果となりました。
- テクニカルセラミックス関連事業においては、半導体関連は人員削減等の合理化を推し進めたことから第1四半期に引き続き利益を確保しています。セラミック関連は工作機械向けの出荷は米国及び欧州において堅調に推移しましたが、半導体製造装置用部品においては半導体業界の落ち込みの影響を受け、前年度を下回る結果となりました。

#### ロ. 通期の見通し

- 年度後半は、為替レート1US\$=108円、1EURO=118円を前提として予想しています。

### 2. 設備投資額及び減価償却費

（単位 百万円）

	前 期	通 期 予 想	（増減額）
自動車関連	45,614	44,200	△1,414
テクニカルセラミックス関連	9,890	5,700	△4,190
その他	1,083	1,100	16
<b>設備投資額</b>	<b>56,587</b>	<b>51,000</b>	<b>△5,587</b>
自動車関連	19,416	23,567	4,150
テクニカルセラミックス関連	3,864	4,602	737
その他	698	1,431	732
<b>減価償却費</b>	<b>23,979</b>	<b>29,600</b>	<b>5,620</b>

### 3. キャッシュ・フロー

（単位 百万円）

	前第2四半期	当第2四半期	（増減額）
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,803	23,004	4,201
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,611	△27,206	△6,594
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,106	17,284	38,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,322	85,765	20,443

（注）2019年3月期第3四半期連結会計期間に行われた企業結合について、当第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理の確定を行っています。比較情報の前連結会計年度については、これらの暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっています。